

令和7年度第2回射水市学校給食運営協議会 議事録

日 時 令和8年2月9日(月)
午後7時から午後7時50分まで
場 所 射水市役所202会議室

議事日程

- 1 開会

- 2 あいさつ

- 3 議事
 - (1) 令和7年度学校給食の実績について
 - (2) 令和8年度学校給食費について

- 4 閉会

出席者

委員

学校関係者

杉高 浩	市学校給食研究会	会長（小杉小学校長）
堀 かおり	市学校給食研究会	副会長（中太閤山小学校長）
寺島 貴幸	市学校給食研究会	副会長（大門中学校長）
竹腰 友紀	市学校給食研究会	理事（片口小学校教諭）
伊藤 雅恵	市学校給食研究会	理事（大門中学校教諭）
羽岡 久美子	市学校給食研究会	理事（学校給食センター、新湊放生津小学校栄養教諭）
金森 祐佳	市学校給食研究会	理事（大門小学校栄養教諭）
片境 真樹子	市幼稚園研究会	（七美幼稚園長）

学識経験者

福田 靖子	市食生活改善推進協議会	会長
亀谷 順子	市食生活改善推進協議会	副会長

P T A

加治 浩和	市P T A連絡協議会	会長（新湊中学校P T A顧問）
漁 幸子	市P T A連絡協議会	副会長（太閤山小学校P T A会長）
江尻 誠	市P T A連絡協議会	副会長（新湊中学校P T A副会長）

事務局

佐藤 昌宏	学校教育課長
川渕 京子	学校教育課長補佐
中波 慎太郎	学校給食センター所長
原田 貴史	学校給食センター主査

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 令和7年度学校給食の現状について

(2) 令和8年度学校給食費について

資料1、資料2に基づき事務局より説明を行った。

事務局の説明を受けて、以下のとおり意見交換を行った。

○ 意見交換概要

残食について

委員 学級閉鎖等によるものは仕方ないが、学校給食では残食や廃棄はどのくらいあるか。

会長 野菜嫌いの傾向があるように感じる。学校では自分の体に合わせて盛り付けをしている。無理のない範囲で先生からもう1回配ることもあるかもしれない。

委員 魚が苦手な児童がいる。4月、5月に低学年の残食が発生するが、学校生活に慣れて体が大きくなると残食が減ってくる。

委員 学年が上がると今まで食べてきた量よりも増えるので、食べきれなくなる児童もいるが、最終的には食べられるようになる。

委員 その学年の身長に合わせた量を提供している。その分を食べて初めて体が成長するということを伝えながら残食しないようにしていきたい。

令和8年度の学校給食費の値上げについて

委員 子どもにとって給食は学校生活の楽しみの一つとなっていると思う。物価高騰の中ではあるが、子どもの体を作るには栄養や量が必要になると思う。

委員 子どもは給食を楽しみにしていると思う。保護者は給食をありがたいと思っているし助かっていると思う。物価高騰の中でも子どもたちの楽しみであり続けてほしいと思っている。

副会長 来年度からの給食費の値上げについて、最低賃金も上昇しているし、物価高騰も周知の事実だと思うので、問題ないのではないかと。ただ、負担に思う家庭もあると思うのでバランスをとる配慮もしていただきたい。

委員 学校給食費の値上げに関しては、食材価格の高騰は皆さん知っておられるので異論はないと思う。

国の支援に伴う給食費の保護者負担軽減について

副会長 無理をして保護者負担をゼロにする必要はないのではないかと個人的に思う。

委員 国からの支援の対象にならない小学校の月額5,200円を超える部分と中学校の学校給食費は全て市で負担されるのか。

事務局 これまでの物価高騰に伴う学校給食費の値上げ分は市で負担しているが、今回の国の支援の対象外の部分についてどこまで補助できるのかは現在検討中である。

委員 これまで保護者は小学校で月額5,600円負担してきたが、国の月額5,200円との差額分と中学校の分まで負担すると負担が大きくなる。月額1,000円になるだけでとても助かると思う。

副会長 私もそう思う。保護者負担をゼロにするから良いというものではないと思う。

事務局 子育てには給食費だけではなく様々な費用がかかっていると思う。また、教育委員会として中学校の方が子育てにより費用がかかっているという思いを持っている。市長の政策公約やどの政策に重点を置くのかを踏まえて保護者負担をできるだけ軽減できるように努力していく。

以上の結果、令和8年度の給食費は、小学校、中学校ともに20円を増額することで調整することとなった。